

質の高い教育支援を

カンボジア教員養成大の教官研修

奈教大の教授らが指導

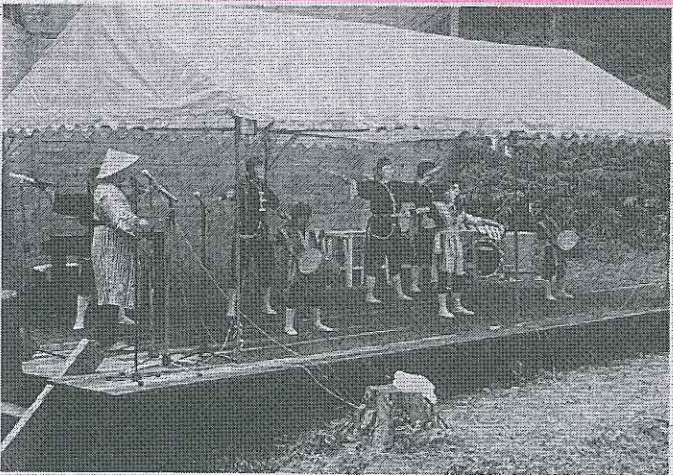
国際協力機構（JICA）は11日、カンボジアの教員養成大学の教官18人の研修を、奈良市高畑町の奈良教育大学で行った。

同日は講義要目の作成や指導法などについて研修。理科担当の同大の森本弘一教授は「実験を通して考えるのが理科ということを伝えたい」と話した。



指導を受けるカンボジアの教官11日、奈良市高畑町の奈良教育大

同機構が平成29年からカンボジアで実施する、技術協力プロジェクト「教員養成大学設立のための基礎構築プロジェクト」の一環。質の高い教員養成など教育改革を進める同国に対し、大学運営の基礎構築から教員養成課程の実施まで包括的な支援を展開している。今回は28日までの日程。「算数・数学教育」「理科教育」「ICT・メディア」「教育学」「外国語」「教育心理学」に関して、奈良教育大の教授らの指導で大学での講義要目や教材、指導案などを学ぶ。また模擬授業にも取り組む。



広がる盆踊り 笑顔



盆踊りを楽しむ来場者―奈良市三条大路南4の平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば

多彩な音楽 にぎわ

きみかげの森 フェスタ 喫茶や野菜販売

奈良

NPO法人きみかげの森（奈良市、森岡正宏理事長）は、第7回「きみかげの森フェスタ」を、同市都祁馬場町の同法人施設で開いた。

沖繩の芸能を披露する出演者―奈良市都祁馬場町（NPO法人きみかげの森提供）

た。雨模様の中、音楽芸能のステージや、県立山辺高校の生徒らによる喫茶、地元野菜販売などがあり、約2000人の参加者でにぎわった。ステージでは、地元「きみかげの森コーラス」の歌唱をはじめ、地元や隣接する三重県上野市の母親らでつくる「なんくるエイサー」も披露した。またGinger Bread（ジンジャーブレッド）の田原地区で文化財の継承「田原伝統会」なども出た。ステージは、雨模様の中、音楽芸能のステージや、県立山辺高校の生徒らによる喫茶、地元野菜販売などがあり、約2000人の参加者でにぎわった。ステージでは、地元「きみかげの森コーラス」の歌唱をはじめ、地元や隣接する三重県上野市の母親らでつくる「なんくるエイサー」も披露した。またGinger Bread（ジンジャーブレッド）の田原地区で文化財の継承「田原伝統会」なども出た。

る日本眼鏡 奈良支部（長、約90人）が八木町3丁原文化会館で開いた。会員が「現実」の時間鏡技術のや、眼科学生だ。県内の眼鏡が講師とや最新のV（拡張現実）について講演 森本支部 最新の技術